

あなたは誰の意見を支持しますか？

米沢市立西部小学校教諭 6学年 東海林 真

実施年月日：令和4年1月31日～2月4日 29名

1 実践計画・指導のねらい

レディネスチェックにおいて、税金と言えば「消費税」と思い浮かべる子どもがほとんどであることがわかった。今回の単元では、租税教室において、「消費税」の他にどんな税金の種類があるのか、そもそもなぜ税金を納めなければならないのか、税金の使い道は何なのかの3点について学ぶ。そして、国民に対してより公平によりたくさん税金を集めるにはどうすればよいかというテーマのもと、子どもたちが主体的に議論し合えるような課題を設定し、18歳で選挙権を持つ子どもたちが少しでも政治に関心を持ったり、これからの社会が抱える問題点をイメージしたりできるように、教科横断的な視点も含めて指導していく。

2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・租税教室を通して、税金について知る。 	○ <u>税金はどのくらい種類があり、何のためにあるのでしょうか。</u> ● 自分たちの知らない税金の種類がたくさんある。 ● 税金がないと町がボロボロになったり勉強するのもお金がかかったりしてしまう。 □使用教材名 米沢市税務課係による租税教室 DVD
2	・税金をたくさん集める方法が3つある中で、国民に対してより公平によりたくさん税金を集める方法について考える。	○ <u>あなたは、どの議員さんの意見を支持しますか？</u> <u>Aさん（所得税推進派） → 所得の金額に応じて、税率を変える</u> ● 稼ぎが少ない人に対して税率を下げれば、生活費にあまり負担がかからなくて済むと思う。 ● 少子高齢化に伴い人口が減少しているので、消費税だけでは安定して税金を取れないのではないかと。 <u>Bさん（消費税推進派） → 消費税を10%から12%にする</u> ● AさんやCさんの意見だと、もうかっている人たちに不満が出そうだが、消費税はみな同じ税率なので不満が出ないと思う。 ● 税率がみな同じなので、平等であり、基本的な人権の尊重にも合っていると思う。 <u>Cさん（法人税推進派） → 会社の利益の額によって、税率を変える</u> ● 景気がこれからよくなって税金がたくさん集められれば、その税金は国民に使われるわけだから、結果的に国民がみな平等でより豊かな暮らしが送れると思う。 ☆ 議論の後、「所得税」「消費税」「法人税」、いずれの集め方が現実的に行われていることを伝え、次時への意欲を持たせた。
3	・国の「歳入」について簡単に調べ、今後の未来では税金がどのように使われていくのか考える。	○ <u>国の「歳入」の半分を占める「所得税」「消費税」「法人税」を使って、今後どのように税金を使っていくと思いますか？</u> ● 高齢化が進んでいるから、介護に使っていくべきだと思う。 ● 環境問題にも使っていくべきだと思う。 □使用教材名 副教材「日本の財政を考えよう」 副教材「暮らしの税情報」「これからの日本のために財政を考える」

【指導のポイント】

＜1時間目＞

租税教室を通して、動画やイラストを用いて税金についての知識を増やすことができた。税金のおかげで自分たちの生活が成り立っているということを理解することができた。

【指導のポイント】

＜2時間目＞

日本の歳入の半数を占める「所得税」「消費税」「法人税」について議論し合う中で、3つの税金の集め方や税率の違いによって、よりたくさん税金を国民が納得いく形で集めていることを理解できた。また、具体的な税率や今の社会問題を調べたり今まで習ったことを生かして考えたりすることもできた。

【指導のポイント】

＜3時間目＞

1学期に総合的な学習の時間でSDGsについて学んだ。それと今回の税金を組み合わせ、これからの課題に対して自分なりの意見をもつ児童が多かった。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 「税金」について議論し合うことで、少しでも政治に関して興味をもったり主体的に考えたりすることができた。
- ◆ 3つの税について考える際、空想論や抽象論になってしまう場面があった。ただ、小学校6年生の段階で、具体的な数値や税率に踏み込んでしまうと理解に苦しんでしまうことも想像されるので、どこまで情報を与えればよいかが難しかった。
- ◆ 米沢市の税金の使い方について触れると、さらに自分たちの身近に「税」を意識できたと思うので、今後への課題としたい。